

与えられたいのちを、 与える心で豊かに生きよう！

万代 栄嗣



昨日の金曜日、東京での仕事を終えて、松山に飛行機で戻りました。ちょうど“山の日”の休日で、いわゆる“お盆”のお休みの始まりでしたので、飛行機はもちろん満席。家族連れが一杯で、空港の到着ロビーも帰省客でごった返していました。その中で、のぼりを立て、子供たちで盛況だったのが、“カブトムシ”のプレゼントコーナー。即売でも安売りでもなく、虫かごに入れた本物のカブトムシを、松山に到着したばかりの子供たちにナント、タダでくれる、という大盤振る舞いの企画でした。

もちろん都会なら一匹何百円とか、種類や大きさによれば何千円もの値が付いてデパートなどで売られているような成虫が、無料。突然のプレゼントに、呆気にとられたような男の子たちも…。そりゃ、嬉しいだろうなあとも私も思わず列に加わりたい気持ちに…。松山への里帰りや旅行を楽しく盛り上げ、歓迎しようという企画だと思いますが、その“無料でプレゼント！”が良いものだな、と改めて思われました。今、“無料でプレゼント！”などと謳われると、何か魂胆が隠されているのでは？と勘繰りたくなるご時世です。そんな社会の空気の中でこそ、本当に“無料でプレゼント！”なのは、素晴らしいことだと思うのです。

そう感じた瞬間、私たちには決して忘れてはならない、大きな恵みがあることに気付かされました。それは、まず、私たちのいのちそのもの。人として生きるいのちを、私たちはそれこそ一銭も支払わず、何の努力もせず、与えていただいたのです。それなのに、与えられたいのちであることを忘れているから、どうしても愚痴が出るのです。毎日がつまらない、面白くない、と文句ばかりを言うのは、どれほど素晴らしいものを与えられているかを考えないからです。いのちの尊さ、価値を知ろうとしないからです。

それどころか、聖書によれば、いのちの与え主である神様は、私たちのいのちが、私たちの内にある罪や心の歪みのせいで正しくまっすぐに生きることができないとわかると、今度は、救い主イエス・キリストのいのちまで与えて、私たちを救い、愛と喜びのある人生を可能にしてくださったのです。私たちが、自分の不幸にさえ無知であった時に、主キリストはいのちを捨てて、救いの道を開いてくださったのです。さあ、私たちは、自分に与えられている恵みがどれほど大きなものなのか、しっかりと受けとめ感謝したいと思います。そして、物ねだりばかりして、もらうことだけの生き方から、少しでも人々に愛を与えてあげられる人生、与える生き方へと変えられていきましょう。

recommend

おすすめ情報

おすすめ



片目の王

■ビル・ウィルソン著/万代栄嗣訳
ウィズダム出版(1500円)

ごく普通の人々が、偉大なことを成し遂げるための9つのポイントを伝授。現状を打開する方法を見出せます。

プレゼントに



逆境に働く信仰

■ビル・ウィルソン著/万代栄嗣訳
ウィズダム出版(1500円)

20万人の恵まれない子どもたちを支援する働きを確立した成功哲学が、全ての人々に生きる力を与えます。